

## 『平成30年版 日本の防衛―防衛白書―』（防衛省編，2018）掲載の地図図版とその評価・問題点【2019年8月 近藤暁夫作成】

| 地図図版名   | 掲載頁   | 問題点・疑問点等   | 評価       |
|---|-------|--|----------|
| 最近の中国によるわが国周辺での活動状況（イメージ）                       | 3     | 画質が荒すぎる。方位記号と距離尺がない。ベース画像の出典がない。   | 不適切      |
| 北方領土における地対艦ミサイルの配備など（イメージ）                      | 4     | ベース画像の出典がない。   | 改善の余地あり  |
| ハイレベルの交流実績（17（平成29）年6月～18（平成30）年6月）             | 7     | 「セルビアモンテネグロ」という国が存在し、コンゴが独立していない。一部の湖が独立国として表現されている。                               | 極めて深刻な問題 |
| 能力構築支援の最近の取組状況（17（平成29）年4月～18（平成30）年6月）         | 8     | サハリン南部がロシア領になっている。アラル海が縮小前の姿のまま。経緯線や距離尺がない。  | 深刻な問題    |
| 全国の主な弾道ミサイル防衛関連部隊の配備状況（イメージ）                    | 11    | 距離尺がない。  | 改善の余地あり  |
| わが国周辺空域における警戒監視                                 | 13-14 | 日本列島の形が極端に歪んでいる。   | 極めて深刻な問題 |
| 南西地域の防衛体制の強化                                    | 19-20 | 那覇の位置が微妙にずれている。距離尺がない。ベース画像の出典がない。   | 改善の余地あり  |
| 最近のわが国周辺の安全保障関連事象                               | 23    | バイカル湖が陸地になっている。距離尺がない。   | 改善の余地あり  |
| 北朝鮮の弾道ミサイルの射程                                   | 26    | 平壤・パリ・ロンドンの位置が違う。投影法の選択に問題。ベース画像の出典がない。  | 極めて深刻な問題 |
| わが国周辺空域における最近の中国の活動のイメージ図                       | 28    | 画質が荒すぎる。方位記号と距離尺がない。ベース画像の出典がない。   | 不適切      |
| アフリカ・中東地域の主なテロ組織                                | 30    | クウェート・カタールがサウジアラビアに併合されている。線の描画が雑。経緯線や距離尺がない。ベースマップの出典がない。                         | 極めて深刻な問題 |
| わが国周辺における主な兵力の状況（概数）                            | 49    | 図の主題上、各国の領域を描写すべき。バイカル湖が陸地になっている。距離尺がない。   | 改善の余地あり  |
| 米軍の配備状況及びアジア太平洋地域における米軍の最近の動向                   | 61    | バイカル湖やバルハシ湖が独立国として表現されている【上図】。経緯度の表記がない【下図】。バイカル湖が陸地になっている【下図】。キャンベラの位置が微妙に違う【下図】。 | 深刻な問題    |
| 朝鮮半島における軍事力の対峙                                  | 63    | ソウル・議政府の位置が違う。距離尺がない。  | 極めて深刻な問題 |
| 北朝鮮の弾道ミサイルの射程【26頁図の再掲】                          | 71    | 平壤・パリ・ロンドンの位置が違う。投影法の選択に問題。ベース画像の出典がない。  | 極めて深刻な問題 |
| 中国（北京）を中心とする弾道ミサイルの射程                           | 96    | パリ・ロンドン・キャンベラの位置が違う。朝鮮半島を中心に意味不明の都市が点在。投影法の選択に問題。ベース画像の出典がない。                      | 極めて深刻な問題 |
| 中国軍の配置と戦力                                       | 98    | アフガニスタンとタジキスタンが合体している。南西諸島の形状が歪んでいる。陸地部分を切断する表現はおかしい。距離尺がない。                       | 極めて深刻な問題 |
| わが国周辺空域における最近の中国の活動のイメージ図【28頁図の再掲】              | 108   | 画質が荒すぎる。方位記号と距離尺がない。ベース画像の出典がない。   | 不適切      |
| 中国による南沙諸島の地形開発                                  | 111   | 地図が大きく歪んでいる。距離尺がない。  | 不適切      |
| ロシア軍の配置と兵力                                      | 128   | モスクワを描写すべき。サハリン南部がロシア領になっている。経緯度の表記がない。  | 深刻な問題    |
| 東南アジアと日中韓の兵力及び国防予算の比較                           | 148   | 東ティモールが独立していない。南米の大部分とグリーンランド、アイスランド、南極が消滅している。                                    | 極めて深刻な問題 |
| インド・パキスタンの兵力状況（概数）                              | 159   | 距離尺がない。  | 改善の余地あり  |
| NATO・EU加盟国の拡大状況                                 | 164   | 距離尺がない。順序の表現は色相環に対応した色選定にすべき。  | 改善の余地あり  |
| 国連平和維持活動一覧                                      | 172   | チュート半島が切断されている。数字の位置が微妙。   | 深刻な問題    |
| アフリカ・中東地域の主なテロ組織【30頁図の再掲】                       | 175   | クウェート・カタールがサウジアラビアに併合されている。線の描画が雑。経緯線や距離尺がない。ベースマップの出典がない。                         | 極めて深刻な問題 |
| 1 関東における再編                                      | 285   | 相模原・座間・横田の位置が違う。距離尺がない。  | 極めて深刻な問題 |
| 2 沖縄における再編                                      | 285   | 沖縄の形状が歪んでいる。   | 極めて深刻な問題 |
| 3 航空機の移駐など                                      | 286   | フィリピンやカリマンタン島が消滅している。竹島を強調しすぎ。距離尺が必要。  | 極めて深刻な問題 |
| 沖縄の地政学的位置と在日米海兵隊の意義・役割                          | 287   | カリマンタン島が消滅している。国境線の描画基準が不明。  | 極めて深刻な問題 |
| SACO最終報告関連施設・区域                                 | 288   | 島の省略が多く本島の形状も雑。距離尺がない。   | 改善の余地あり  |
| 代替施設と普天間飛行場の比較                                  | 291   | 沖縄の形状が歪んでいる。描画されている島が少なく位置もおかしい。   | 極めて深刻な問題 |
| グアム移駐事業の進捗状況                                    | 294   | 距離尺がない。  | 改善の余地あり  |
| 嘉手納飛行場以南の土地の返還                                  | 296   | 距離尺がない。  | 改善の余地あり  |
| オスプレイの有用性                                       | 298   | 距離線の表現に誤り。投影法の選択に問題。国境線の描画基準が不明。   | 極めて深刻な問題 |
| 神奈川県における在日米軍施設・区域の整理など                          | 300   | 神奈川県と題しておきながら横浜しか描画されていない。距離尺がない。  | 不適切      |
| わが国周辺海空域での警戒監視のイメージ                             | 316   | 沖ノ島周辺の領海が二重になっている。フィリピンの描画が雑。済州島が半分沈んでいる。経緯線や距離尺がない。                               | 極めて深刻な問題 |
| 緊急発進の対象となった航空機の飛行パターン例                          | 318   | 経緯度が読み取りづらい。   | 改善の余地あり  |
| わが国及び周辺国の防空識別圏                                  | 318   | 沖ノ島・南鳥島・得撫島が消滅している。経緯線や距離尺がない。   | 極めて深刻な問題 |
| 南西諸島における主要部隊配置状況                                | 321   | 富山県の位置がずれ、千葉県や広島県の色が違う。距離尺がない。ベース画像の出典がない。   | 改善の余地あり  |
| 宇宙利用のイメージ                                       | 330   | 北方領土が消滅している。   | 深刻な問題    |
| 防衛駐在官派遣状況                                       | 344   | モンテネグロ、コンゴが独立していない。南極大陸が消滅している。パンクレーバー島がアメリカ領になっている。                               | 極めて深刻な問題 |
| ハイレベルの交流実績（17（平成29）年6月～18（平成30）年6月）【7頁図の再掲】     | 346   | 「セルビアモンテネグロ」という国が存在し、コンゴが独立していない。一部の湖が独立国として表現されている。                               | 極めて深刻な問題 |
| 能力構築支援の最近の取組状況（17（平成29）年4月～18（平成30）年6月）【8頁図の再掲】 | 353   | サハリン南部がロシア領になっている。アラル海が縮小前の姿のまま。経緯線や距離尺がない。  | 深刻な問題    |
| 自衛隊による海賊対処のための活動                                | 378   | イエメンの地名表記もあつた方がよい。   | 改善の余地あり  |
| 主要部隊などの所在地（イメージ）                                | 巻末資料  | 屋久島・種子島・福岡・旭川・名寄の位置が違う。海上国境線を引くのならサハリンや朝鮮半島も描画すべき。関東拡大図での破線の色が変。経緯線や距離尺がない。        | 極めて深刻な問題 |
| 沖縄における在日米軍主要部隊などの配置図（平成29年度末現在）                 | 巻末資料  | 距離尺がない。  | 改善の余地あり  |
| 沖縄を除く地域における在日米軍主要部隊などの配置図（平成29年度末現在）            | 巻末資料  | 島嶼の省略が多い。経緯線や距離尺がない。   | 深刻な問題    |

注1) 図版の評価等は近藤が独自に行ったものであり、これ以外にも問題点が含まれていたり、近藤の評価が誤っていたりする可能性を否定しない。

注2) 各評価の基準は次の通りである。「改善の余地あり」=内容等は概ね適切だが、地図（主題図）の表現面で改善できる余地のある図版。「不適切」=地図（主題図）の表現上大きな問題があり、主題図として成立していない図版。「深刻な問題」=表現されている内容（事実）に大きな誤りがある図版。「極めて深刻な問題」=表現されている内容（事実）に深刻な誤りがあり、政治問題化する恐れが指摘される図版。

注3) 図版評価の一部は田代博によるものを参考にした（<http://yamao.lolipop.jp/map/2018/hakusho/2018.htm>）。

注4) この表の2次利用等は自由で近藤への連絡も不要だが、活用にあたっては「近藤の調べによる」旨出典を明示すること。